

R6年度 自己評価及び学校関係者評価結果

三松幼稚園

1 幼稚園の教育目標

本園では、「自然性尊重・自主性育成・社会性涵養」を教育目標として、子ども本来の姿を伸ばし、豊かな人間性を育成することを願い日々保育に取り組む。

本園ではめざす幼児像として次の3項目掲げる。

1子どもらしい子ども 2自分のことは自分でする子ども 3友だちと仲よく遊べる子ども

2 本年度の重点課題

ビジョン「野生にかえる」を意識し、年間を通して外遊び・園外保育を重点的に行う。

3 自己評価及び学校関係者評価

評価項目	具体的取組と自己評価	園評価	学校関係者評価及び改善策	学校関係者評価
①保育の計画性	年度当初に園としての方向性を伝え、各学年の目標を設定し、達成できるよう努めた。 キャリア年間指導計画を立て、それを基に月案週案を作成し、保育にあたるように指導した。週終わりには反省・課題を報告し、園長からの指導を仰いだ。 行事については職員全体で協議し、進めていった。	A	2学年、職員3名体制で常に意思疎通をはかり柔軟に保育を行うことができた。 新しい行事の試みや、学期ごとの子どもの成長が分かり良かった。 常に、「子どもファースト」を考えた保育、「今」しかできない保育をしてくださりとでも良かった。	A
②保育のあり方、幼児への対応	子ども達の「やってみたい！」という気持ちを大切に、実行に移した。諦めたり、逃げ出さずにやり遂げた事を褒めて、自信も持ってもらよう努めた。 援助が必要な子どもへの対応を関係医療機関と連携し、指導を仰ぎながら保育できた。 子ども一人ひとりの性格や人間性を見極め、その園児にあった声掛けや細かな保育指導にあたるよう努めた。	A	保護者は園を信頼できて安心して子どもを預けることができる。 専門家の指導を受けていることは大変いい事です。ね。 引続き連携を取って、保育に活かして欲しい。 チーム保育ができています。	A
③教師としての資質・能力・適性について	「子ども達の為に」を意識し、日々何が出来るのかを討議し、職員間で話し合いをする機会を多く取り入れた。 幅広い視野をもつことを意識するよう努めた。 今、何をすべきか・どうしたらよいかを常に考え、行動に移すようにした。 長期休暇期間に、読書や音楽鑑賞等の見識を深めるよう努めた。また、興味外の事にも意識してみるように努めた。	A	先生が全力で子ども達と関わってくれているのが伝わった。これからもよろしくお願いします。 研修で学んだこと、良いと思ったことをどんどん取り入れて保育に活かしてほしい。 今の時代にあった保育もどんどん取り入れ、アンテナ高くし、子ども達にとってベストな保育をしてください。	A
④保護者への対応	園の現状を理解して頂きながら、保護者への協力を仰ぎながら行事を行った。また園行事への参加機会を増やしその中で園と保護者とのコミュニケーションを深める事ができた。 職員が3人態勢の為、ブログが思うように更新ができなかった。引き続き園の保育の在り方や町内の教育現状を理解していただけるよう努めてい	B	2学年での不安もあったが、園長先生の想いや考えを職員が理解し、一丸となって保育に努めてくれたことに感謝。 引続き、保護者との良好な関係を築いていってほしいです。	A
⑤地域の自然や社会との関わり	三ヶ日町の自然環境を生かす保育(園外保育)をするよう心掛けた。 年長児・年中児ともに、年間通して体力向上を掲げ、長距離の園外保育も大丈夫になった。 町内老人施設への慰問を計画したが、調整がつかなく出来なかった。	A	体力向上を意識して年間通して園外保育へ出かけ、四季を五感で感じたり感性を養うことができたことがありがたいです。 園外保育が増えたことによって、子どもの体力がついた。また、町で行き交う大人との交流もできた。	A
⑥研修と研究	オンライン研修が増え参加しやすくなった。職員一人ひとりが目的意識を持ち、自主的に保育の質の向上に努めた。 園内研修で、職員それぞれが意見を述べたり、発言をし、自主性を高めるように努めた。 「幼児期に育てたい10の姿」を認識し、共通理解を深めるように努めた。	B	先生方が色々な研修に参加しているのだなと思った。 研修で学んだことを保育に活かしてくれていることを知った。 「働き方改革」は引き続き取り組んでいってほしい。 研修以外にも先生方一人ひとりが「スキルアップ」につながる取り組みがなされていることを知った。	A

4 総合的な評価結果

結果	理由
A	園の教育目標・ビジョンに向かって保育に取り組んでいる様子が見られた。園長職員の関係が良いので引き続き情報共有をしていってほしい。 閉園は寂しいが、園(園長・職員)が子ども達の為に全力で保育する姿勢が良かった。毎日職員と子ども達が笑顔溢れる1年間だった。

5 今後取り組むべき課題

- ①町内高齢少子化の現状・町内の教育現状をもっと多くの人に知ってもらい、町民・子育て世代の意識改革をしていきたい。
- ②町内「小中一貫化」がうまくいけば、自ずと幼保合併につながる。そうなれば「こども園」民営化としての道もある。
- ③不適切保育・園バス事故等がないよう園長・職員が引き続き注意しながら保育を行う。

6 学校関係者評価委員会の総合的な評価

各項目毎、具体的な取組や、その反省課題を元に目標達成にむけて教職員が一丸となって努力していることがよくわかった。